

マルチコントロール オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



WX-C770

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

▶ 準備

まず、本機をリセットする	7
SHIFTボタンについて	7
時計を合わせる (SET UP)	8
放送局を自動で登録する	9

▶ ここだけ読んでも使えます

CDを聞く	10
テープを聞く	16
ラジオを聞く	22

▶ CD

CDに名前をつける (ディスクメモ)	26
CDの聞きたい曲だけを聞く (バンク)	28

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	30
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	31
放送局を名前で探す (リスト)	33

▶ その他の操作

スペクトラムアナライザーの表示を選ぶ (SA)	34
イコライザーを設定する (EQ)	35
サブウーファースの出力を設定する (SUB)	38
左右の出力バランスを調節する (Balance)	39
前後の出力バランスを調節する (Fader) ...	39
CD/MDごとに音響効果を登録する (ディスクサウンドメモリー)	40
ソースごとに音響効果を記憶する (ソースサウンドメモリー)	41
ロータリーコマンドの操作	42
音や表示などの設定を変える (SET UP)	45

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

CD/MDを聞く	47
聞きたいディスクを探す	48
繰り返し聞く (リピート)	48
曲順を変えて聞く (シャッフル)	49
CDに名前をつける (ディスクメモ)	49
ディスクを名前で探す (リスト)	50

▶ テレビ・ビデオ

テレビを見る	51
ビデオを見る	53
ラジオ局・テレビ局の一覧を見る	53
CD/MDの情報を見る	54
テレビやビデオを見ながらCD/MD/テープ を聞く (サイマルプレイ)	55

▶ CD/CD-ROM

音声を切り換える	56
----------------	----

付録

使用上のご注意	57
各部のなまえ	60
故障かな?	63
保証書とアフターサービス	66
主な仕様	67
索引	裏表紙



火災



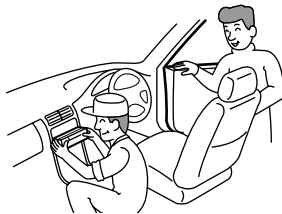
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で実装するときは、別冊の「実装と接続」の説明に従って、正しく実装してください。正しい実装をしないと、火災や感電の原因となります。

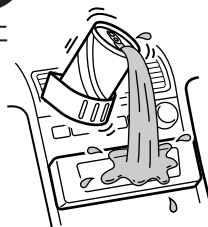


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

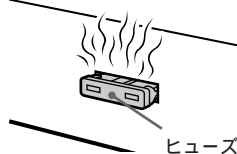


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

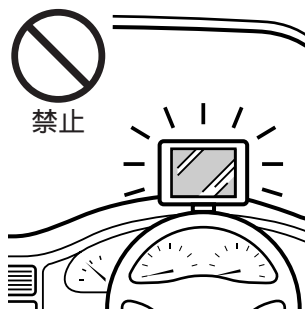


禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。
また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

本機では、CDとカセットテープ、ラジオを聞くことができます。また、以下の機能が備わっています。

- **CD-TEXT表示**

CD-TEXTディスクに登録されている情報を表示できます。

- **イコライザー機能**

多彩で、きめ細やかな音作りが楽しめます。

- **ロータリーコマンダー**

お手元で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。組み合わせる機器の例として以下のものがあります。

- **CD/MD機器**

- ー カスタムファイル機能付きCDチェンジャー、MDチェンジャーがあります。
- ー カタカナ表示対応のMDチェンジャーをつなぐとカタカナ表示もできます。

- **テレビ、ビデオ**

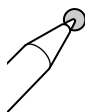
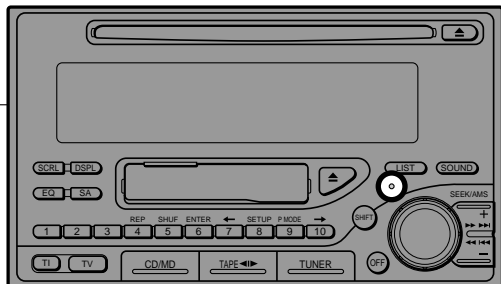
- **FM文字多重放送ディスプレイユニット**

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MD機器、テレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています(47ページ～)。

TEL/NAVIミュート機能

本機は、電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに本機からのスピーカーの音量を自動的に下げます。ただし、ミュート出力コードの付いた携帯電話や自動車電話、カーナビゲーションシステムを接続した場合です。VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

まず、本機をリセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

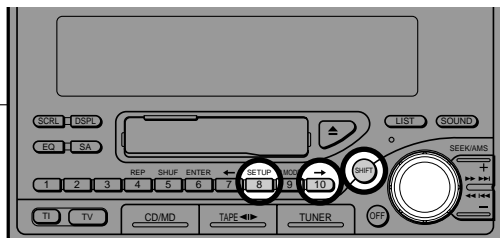
- リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。誤ってCDを入れたときは、もう一度リセットボタンを押してください。

SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、4～10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

時計を合わせる



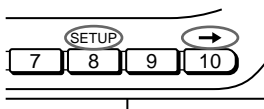
SET UP (セットアップ)

1 車のイグニッションキーをONにする。



2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。



3 数字ボタン8 (SET UP) を押す。

Clock Set



1 数字ボタン10 (→) を押す。

Clock 12:00



2 ダイヤルを回して「時」を合わせる。(時計は12時間表示)

Clock 10:00



3 数字ボタン10 (→) を押す。

Clock 10:00



4 ダイヤルを回して「分」を合わせる。

Clock 10:08



4 SHIFTボタンを押す。

時計がスタートします。

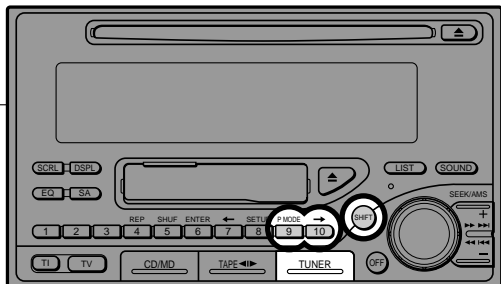


5 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

本機底面のパワーセレクトスイッチを①にしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、TUNERボタンを押してラジオをつけます。

放送局を自動で登録する



受信できる放送局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 TUNERボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すたびにFM↔AMと切り換わります。



2 SHIFTボタンを押して「^{プレイモード}P MODE」を表示する。



3 数字ボタン9 (P MODE) を繰り返し押して、「B.T.M」を表示する。



4 数字ボタン10 (→) を押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



5 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

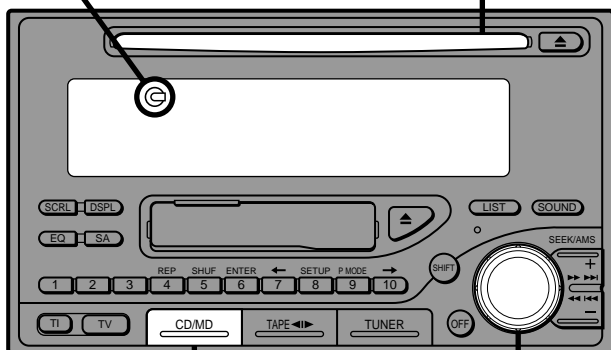
- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

CDを聞く

CDを入れると再生が始まります

レーベル面を上にして
入れます。

CDが入って
いると点灯



CDが入っているときに押す
と再生が始まる

シーディー/エムディー
(CD/MDボタン)



音量を調節する

8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターなし
で再生することができます。

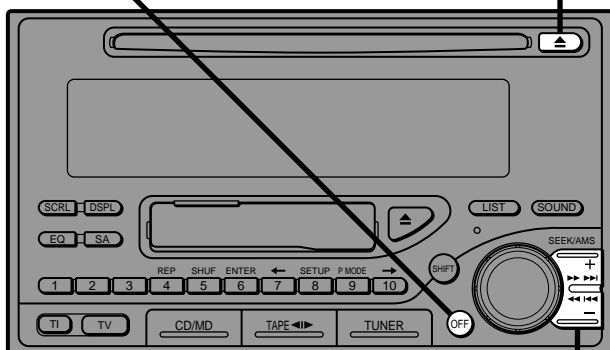
8cmCDにシングルアダプターを付
けてディスクを再生すると、誤動作
することがありますので使用しない
でください。

止める / 電源を切る

オフ
(OFFボタン)

CDを取り出す*

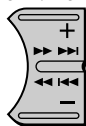
イジェクト
(▲ボタン)



聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)

SEEK/AMS



先に進める

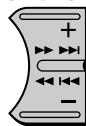
前に戻す

押しつづけ、聞きたいところ
で離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)

SEEK/AMS



次の曲へ

前の曲へ

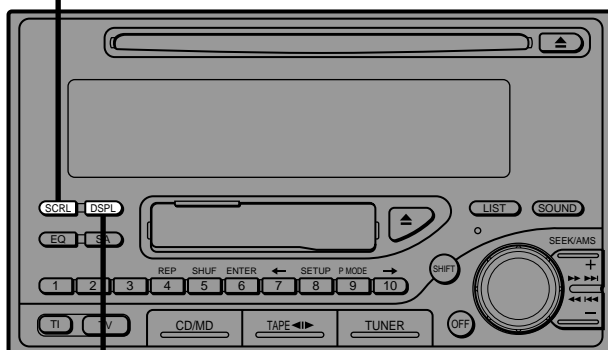
とばしたい曲の数だけ
押します。

* ▲ボタンを押したあと、挿入口にCDが15秒以上差し込まれたままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります(セルフストア機能)。

CDを聞く(つづき)

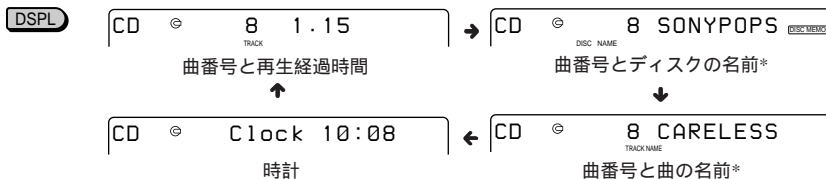
9文字以上の名前を見る

スクロール
(SCRLボタン)



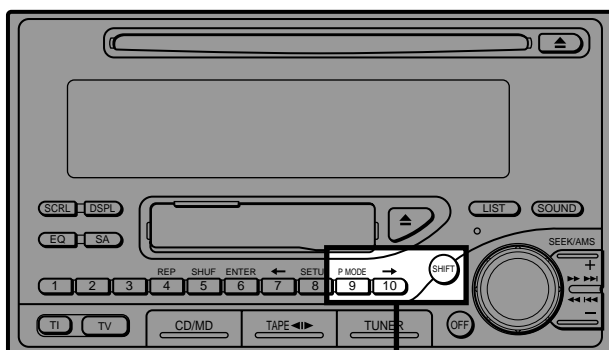
表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



* 名前が記録されていない場合は、「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。

本機ではCD-TEXTディスクに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。



イントロ

曲の初めだけ聞く(イントロ演奏)



1 SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます
(「SET UP」、「P MODE」など)。



2 数字ボタン9(P MODE)を繰り返し押して、「Intro off」表示にする。



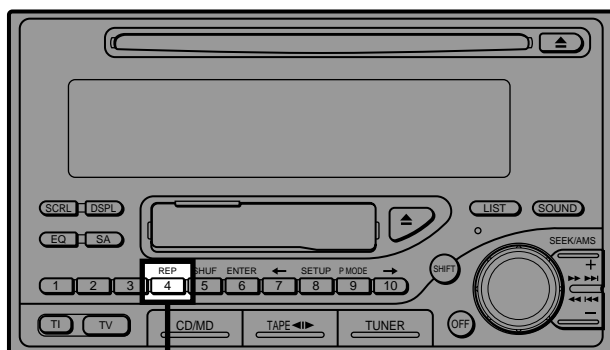
3 数字ボタン10(→)を押して「Intro on」を選ぶ。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「off」を選びます。

CDを聞く(つづき)



リピート

同じ曲を繰り返し聞く(リピート演奏)



1 SHIFTボタンを押して「REP」を表示する。

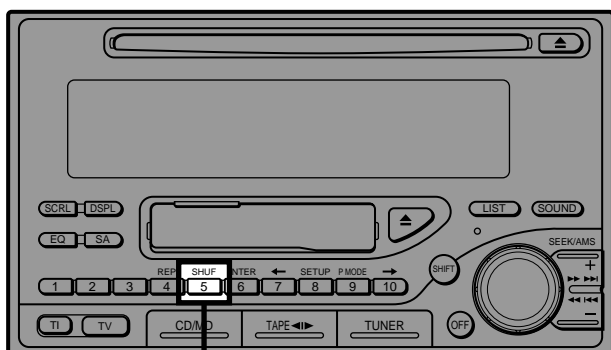


2 数字ボタン4 (REP) を押して「Repeat 1」表示にする。






3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。



シャッフル

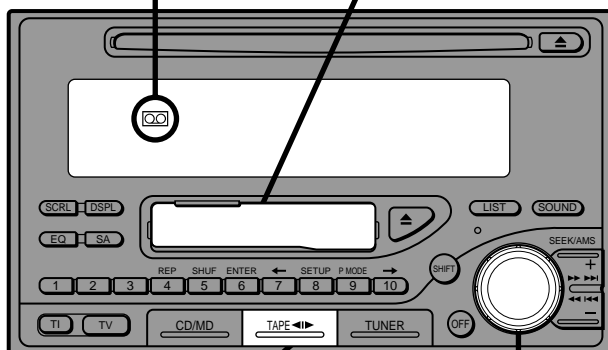
曲順を変えて聞く(シャッフル演奏)

-  **1** SHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。
 -  **2** 数字ボタン5(SHUF)を押して「Shuf 1」表示にする。
 -  **3** 最後に、SHIFTボタンを押す。
- ふつうの再生に戻すには、手順2で「Shuf off」表示にします。

テープを聞く

テープを入れると再生が始まります

テープが入っていると点灯



音量を調節する

テープが入っているときに押すと再生が始まる

テープ
(TAPEボタン)

再生中に押すと、テープの面が切り換わります。



TAPE FWD 上面を再生



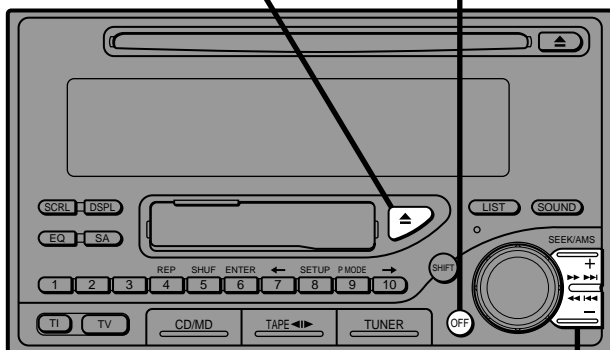
TAPE REV 下面を再生

テープを取り出す

イジェクト
(▲ボタン)

止める / 電源を切る

オフ
(OFFボタン)

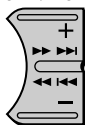


巻き戻し・早送りをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)

2秒以上押します。

SEEK/AMS



早送り

巻き戻し

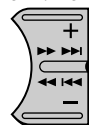
途中で再生を始めるには
TAPEボタンを押します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)

短く押します。

SEEK/AMS

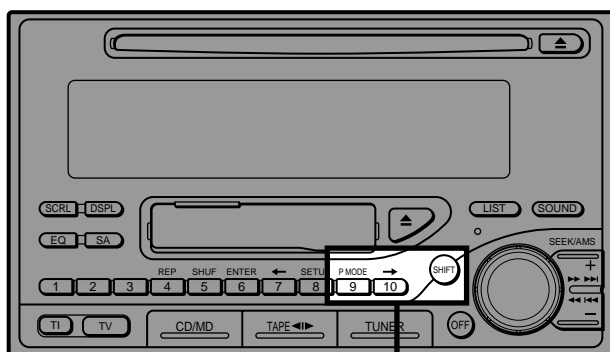


次の曲へ

前の曲へ

とばしたい曲の数だけ押し
ます(最大9曲まで)。

テープを聞く(つづき)



P MODE(プレイモード)

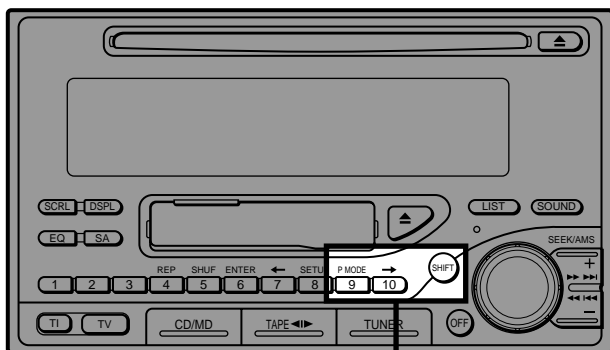
いろいろな聞きかた

- 「Intro」 → 各曲の頭を10秒ずつ再生する。
- 「NR」 → ドルビー・*B NRで録音したテープを再生する。
- 「Metal」 → メタルテープを再生する。
- 「ATA」 → 早巻き中、ラジオに切り換わる。
- 「B.Skip」 → 8秒以上の空白を早送りする。

操作手順は次ページを参照。

* ドルビー・ノイズリダクションはドルビー・ラバトリーズ・ライセンス・コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY、及びダブルD記号DDはドルビー・ラバトリーズ・ライセンス・コーポレーションの商標です。



P MODE (プレイモード)

いろいろな聞きかた(つづき)



1 SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます(「SET UP」, 「P MODE」など)。



2 数字ボタン9(P MODE)を繰り返し押して、表示を切り換える。

→ Intro → NR → Metal → ATA → B.Skip →



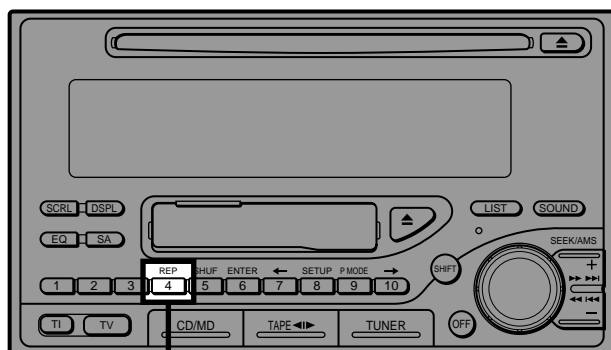
3 数字ボタン10(→)を押して「on」を選ぶ。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「off」を選びます。

テープを聞く(つづき)



リピート

同じ曲を繰り返し聞く(リピート演奏)



1 SHIFTボタンを押して「REP」を表示する。

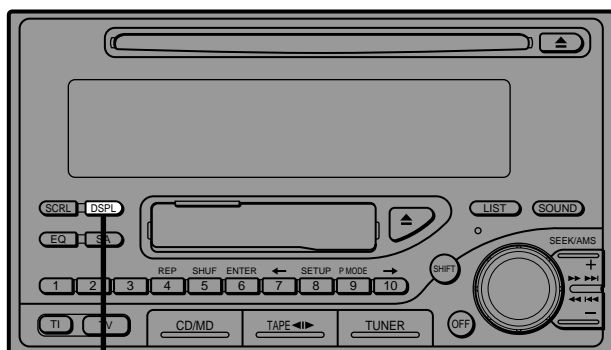


2 数字ボタン4(REP)を押して「Repeat on」表示にする。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。



ディスプレイ
表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。

DSPL

TAPE REC

FWD

再生中



TAPE REC

Clock 10:08

時計



FM



81.3 MHz

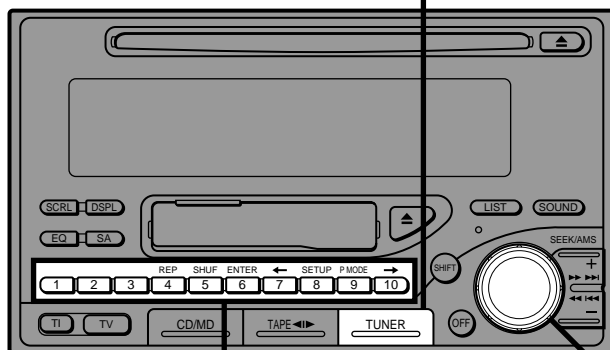
周波数 (ATAがON
で早巻き中のみ)

ラジオを聞く

1 聞きたいバンドに切り換える



押すたびにFM↔AMと切り換わります。



2 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局を登録してあるとき)

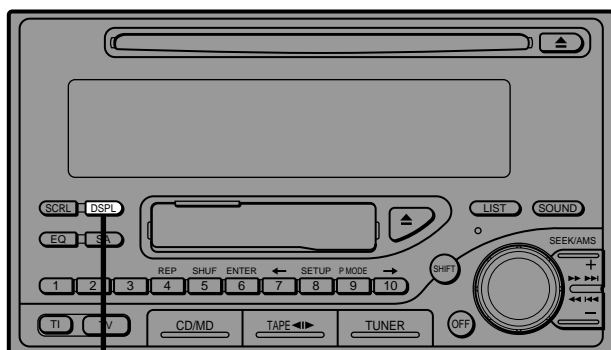


登録のしかたについては、9ページ参照。

ご注意

数字ボタンの上に「SET UP」、「P MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

音量を調節
する



表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

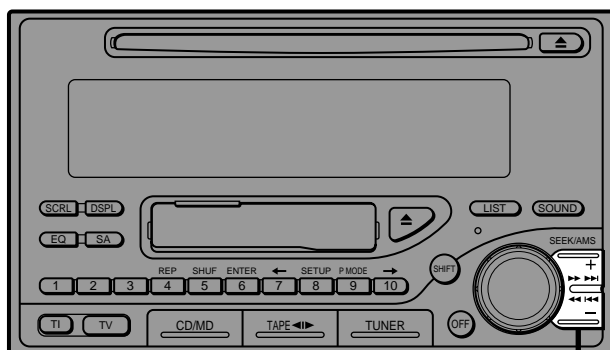
DSPLボタンを押して表示を切り換えます。

DSPL	FM	J-WAVE	放送局の名前*
		↓	
	FM	81.3 MHz	周波数
		↓	
	FM	Clock 10:08	時計

* 名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示され、周波数表示に換わります。

次のページへつづく

ラジオを聞く(つづき)



旅先などで、登録した放送局が受信できないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを短く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで、ボタンを押します。



- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

- 1 SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン9(P MODE)を繰り返し押して、「Local off」表示にする。
- 3 数字ボタン1(→)を押して「Local on」表示にする。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

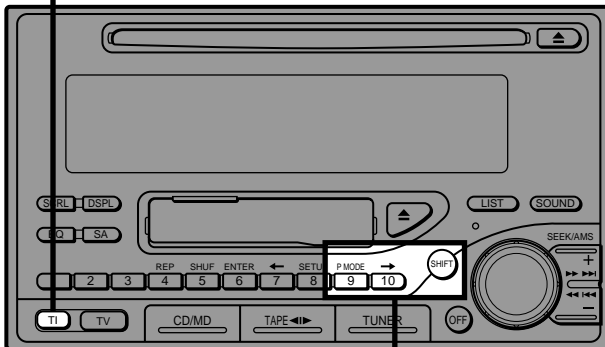
ふいつうの受信に戻すには、手順3で「Local off」を選びます。

道路交通情報を聞くには(トラフィックインフォメーション)

道路交通情報(AM 1620kHzまたは1629kHz)の放送地域内で聞くことができます。

TI TIボタンを押します。

元のソースに戻すには、もう一度TIボタンを押します。SEEK/AMSボタンを押すと、周波数(1620kHz/1629kHz)を切り換えることができます。



ステレオ放送が聞きにくいとき

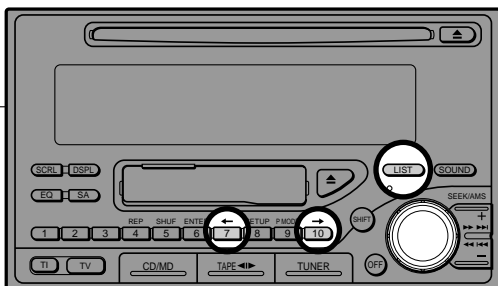
ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。

放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン9(P MODE)を繰り返し押して、「Mono off」表示にする。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「Mono on」表示にする。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには、手順3で「Mono off」を選びます。

CDに名前をつける

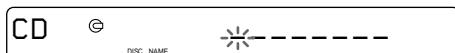


ディスクメモ/カスタムファイル

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前は本機に記憶され、CD110枚分の名前を保存できます。

LIST

1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。

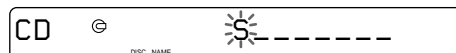


2 文字を入力する。



① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→•→_



ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

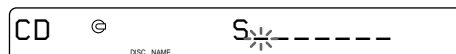
文字をあけたいときは、「 _ 」(下線)を入力します。

名前を消したいときは、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力します。

→
10

←
7

② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

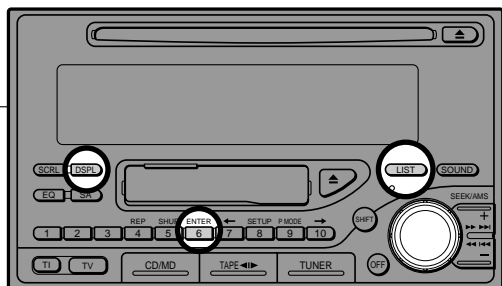


まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

③ 手順**①**と**②**を繰り返して名前を入力する。

LIST

3 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。



ディスクメモ/カスタムファイル

CD

名前を表示するには

DSPL 再生中にDSPLボタンを押して、名前を表示する。

DSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換える。

名前を消去するには

1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押します。

2 DSPLボタンを2秒以上押します。

3 ダイアルを回して、消したい名前を表示させます。

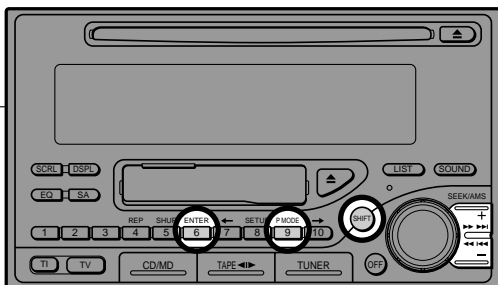
4 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

他の名前を消すときは、手順3と4を繰り返します。

5 LISTボタンを2秒以上押します。

「CDに名前をつける」の手順2で、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

CDの聞きたい曲だけを聞く



バンク/カスタムファイル

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使うのは、ディスクメモ機能(26ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすよう指定する



1 名前をつけたCDを再生し、SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。



2 数字ボタン9(P MODE)を2秒以上押す。

CD 1 Bank Play



3 SEEK/AMSボタンを押してとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6(ENTER)を押す。



表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。

CD 3 Bank Skip

「Play」に戻すときは、もう1度数字ボタン6を押します。

4 同様に、とばす曲全部に「Skip」を設定する。



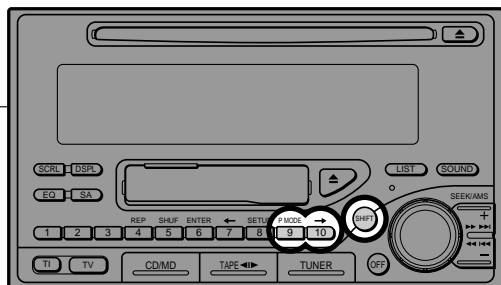
5 数字ボタン9(P MODE)を2秒以上押す。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・「Skip」の設定ができるのは24曲目までです。
- ・「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。



バンク/カスタムファイル

CD

曲をとばしながら聞く

- 「Bank on」 → 「Play」(再生する)を設定した曲だけ再生する。
- 「Bank inverse」→ 「Skip」(とばす)を設定した曲だけ再生する。
- 「Bank off」 → 普通の再生。



1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。



2 数字ボタン9(P MODE)を繰り返し押し、
「Bank off」を表示する。

CD Bank off



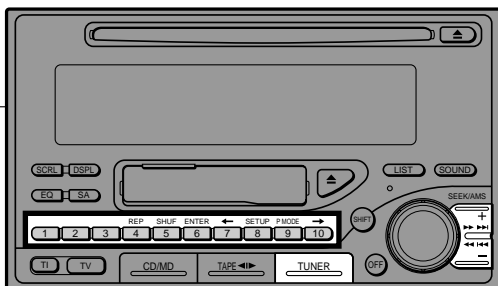
3 数字ボタン10(→)を繰り返し押し、再生のしかたを選ぶ。

→ Bank on → Bank inverse → Bank off



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

特定の放送局を登録する



放送局を自動登録(9ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。



1 TUNERボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。



2 SEEK/AMSボタンを押して、登録する放送局を受信する。

FM 81.3 MHz



3 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。



押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

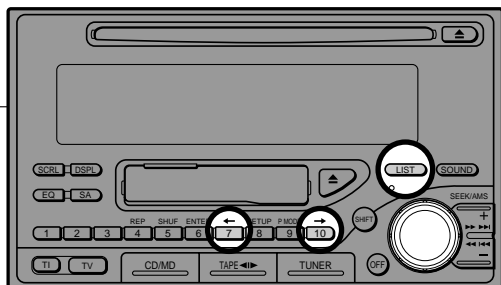
FM 2MEM 81.3 MHz

PRESET

ご注意

- すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。
- 数字ボタンの上に「SET UP」、「P MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

放送局に名前をつける



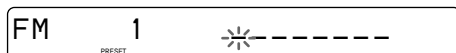
ステーションメモ

放送局に名前をつけると、受信中にその名を表示することができます。
最大40の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

2 LISTボタンを2秒以上押す。

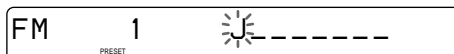


3 文字を入力する。



① ダイアルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→
·→_



ダイアルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「 _ 」(下線)を入力します。

名前を消したいときは、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力します。



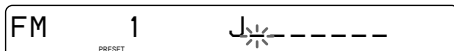
10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



7



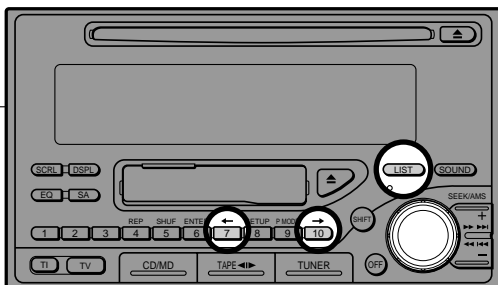
まちがえたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させて、正しい文字を入力します。

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

LIST

4 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

放送局に名前をつける(つづき)



名前を表示するには



DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。

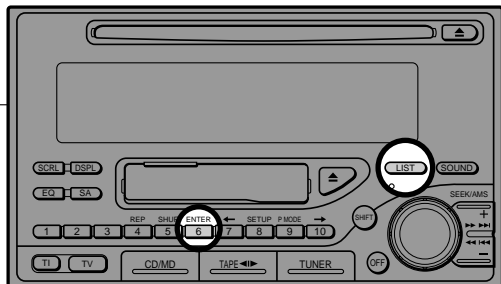
名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示されます。

名前を消去するには

- 1 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 3 ダイヤルを回して、消したい名前を表示させます。
- 4 数字ボタン6(ENTER)を名前が消えるまで押します。
- 5 LISTボタンを2秒以上押します。

「放送局に名前をつける」の手順3で、すべての文字に「 _ 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局を名前で探す



リスト

放送局に名前をつけておくと(31ページ)、名前を見ながら放送局を探すことができます。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。

FM L 3 J-WAVE

受信中の放送局の
名前が点滅

名前をつけていない場合は、周波数が表示されます。

LIST

2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前を表示する。

DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

ENTER

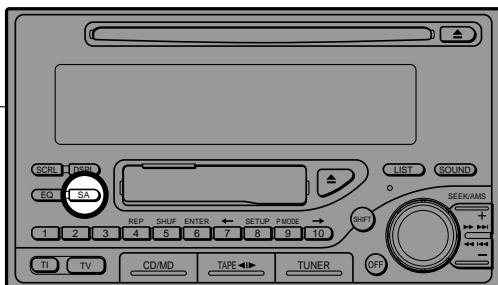
6

3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ご注意

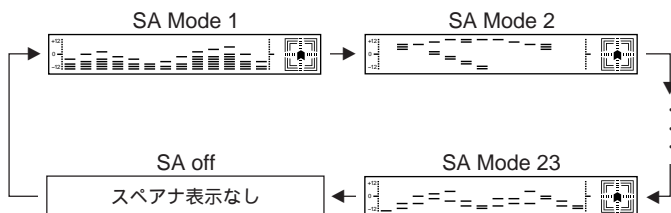
別売りのTVチューナーを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作は行えません。くわしくは「ラジオ局・テレビ局の一覧を見る」(53ページ)。

スペクトラムアナライザーの表示を選ぶ



刻々と変化する音声信号レベルを13バンドのスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。また、表示パターンは23種類の中から選ぶことができます(音声信号に連動しない表示パターンを含む)。

SA 再生中にSAボタンを短く押して表示パターンを選ぶ。



スペクトラムアナライザーのレベルを調整する

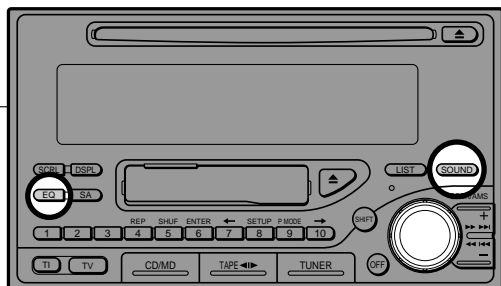
スペクトラムアナライザー表示のレベルは、3段階(High、Middle、Low)に切り換えることができます。

SA SAボタンを2秒以上押す。

押すたびにレベルが切り換わります。



イコライザーを設定する



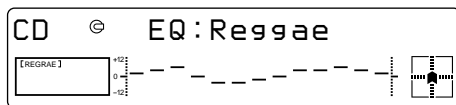
EQ

イコライザーカーブを選ぶ

本機には音楽のジャンルに合わせて6種類のイコライザーカーブが用意されています(Reggae、Jazz、HipHop、Dance、Ballad、Classic)。また、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブを3種類登録できます(User 1、User 2、User 3)。

- 1 設定したいソース(CD、テープ、ラジオなど)を再生する。

- 2 **SOUND** ボタンを繰り返し押し、 「EQ」 を表示する。



- 3 ダイアルを回してイコライザーカーブを選ぶ。



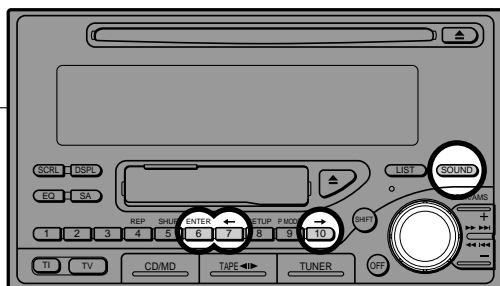
3秒後、通常モードに戻ります。

イコライザーを解除するには

- EQ** ボタンを押します。

イコライザーをかけるには、もう一度EQボタンを押します。

イコライザーを設定する(つづき)



EQ

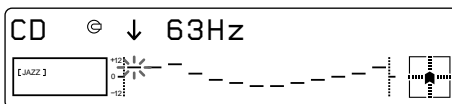
好きなイコライザーカーブを登録する

あらかじめ用意されているイコライザーカーブに変更を加え、お好みのイコライザーカーブを3種類登録することができます(User 1、 User 2、 User 3)。

- 1 設定したいソース(CD、テープ、ラジオなど)を再生し、もとなるイコライザーカーブを選ぶ。

SOUND

- 2 SOUNDボタンを2秒以上押す。

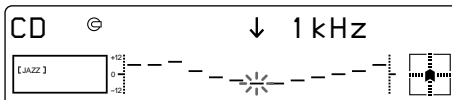


イコライザー
調整モード

←
7

- 3 数字ボタン7(←)または10(→)で、周波数を選ぶ。

→
10



イコライザー
調整モード



- 4 ダイヤルを回し、レベルを調節する。

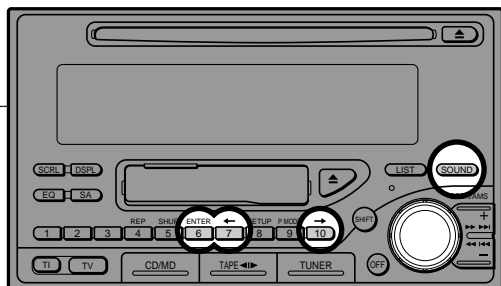
手順3と4を繰り返し、イコライザーカーブを調節する。

ENTER
6

- 5 数字ボタン6(ENTER)を押す。



メモリー選択モード



EQ



- 6** ダイヤルを回し、登録する番号 (User 1、User 2、User 3) を選ぶ。

CD © EQ : User 3

メモリー選択モード

登録をやめるには、SOUNDボタンを2秒以上押します。

ENTER
6

- 7** 数字ボタン6 (ENTER) を押して登録する。

CD © +Enter+

イコライザーカーブが登録され、イコライザー調整モードに戻ります。

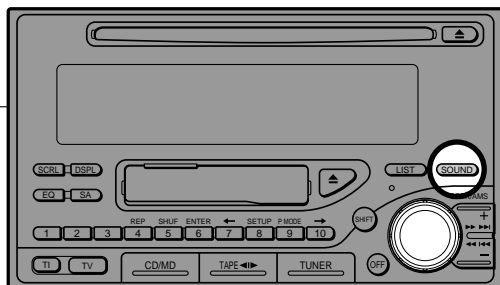
SOUND

- 8** 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

通常モードに戻ります。

その他の操作

サブウーファーの出力を設定する



SUB

サブウーファーの出力レベルを調整する

接続したサブウーファーに対し、再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

- 1 設定したいソース（CD、テープ、ラジオなど）を再生する。

SOUND

- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「Sub.w」表示にする。

CD Sub . w 23

サブウーファー出力
レベル調整モード



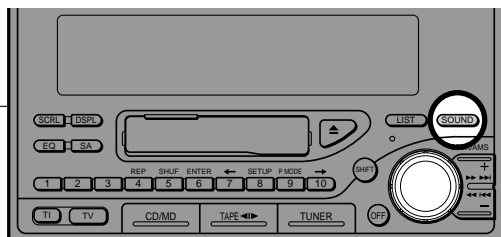
- 3 ダイアルを回して出力レベルを調整する。

CD Sub . w 30

サブウーファー出力
レベル調整モード

3秒後、通常のモードに戻ります。

左右の出力バランスを調節する



Balance

- SOUND** 1 SOUNDボタンを繰り返し押して、「Balance」表示にする。

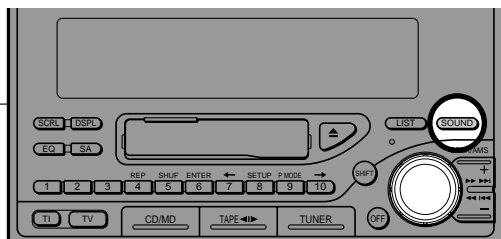
CD ⓘ Balance 0 バランス(左右)調節モード



- 2 ダイヤルを回して左右の出力バランスを調節する。
3秒後、通常モードに戻ります。

その他の操作

前後の出力バランスを調節する



Fader

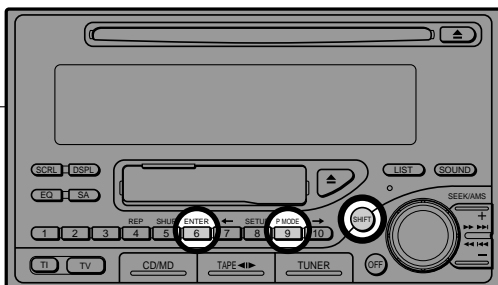
- SOUND** 1 SOUNDボタンを繰り返し押して、「Fader」表示にする。

CD ⓘ Fader 0 フェーダー(前後)調節モード



- 2 ダイヤルを回して前後の出力バランスを調節する。
3秒後、通常モードに戻ります。

CD/MDごとに音響効果を登録する



ディスクサウンドメモリー

本機では、ディスクごとにイコライザー（EQ）、サブウーファー（Sub.w）の出力を登録することができます（50枚まで）。
プログラム演奏に対応していないCD/MDチェンジャーでは機能しません。

- 1 設定したいディスク（CD、MD）を再生する。
- 2 イコライザー（EQ）、サブウーファー（Sub.w）を調節する。



- 3 SHIFTボタンを押す。



- 4 数字ボタン9（P MODE）を繰り返し押して、「DSM set」表示にする。

CD © DSM set

ディスクサウンド
メモリー（DSM）
登録モード



- 5 数字ボタン6（ENTER）を押す。

手順4のあと、5秒以内に行ってください。

CD © +Enter+



- 6 最後に、SHIFTボタンを押す。

登録した音響効果を消すには

上記の手順5で、数字ボタン6（ENTER）を2秒押します。

ソースごとに音響効果を記憶する

ソースサウンドメモリー

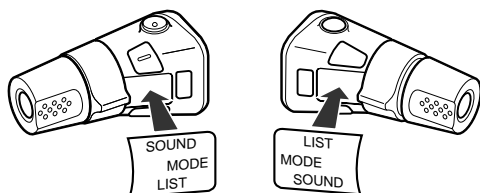
本機は自動的にソース（CD、テープ、MD、FM、AM、テレビ）ごとにイコライザー（EQ）、サブウーファー（Sub.w）の出力を記憶しています（ソースサウンドメモリー）。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

ロータリーコマンドーの操作

ロータリーコマンドーのシールについて

本機にはロータリーコマンドーが付属されています。ロータリーコマンドーの取り付けについては別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

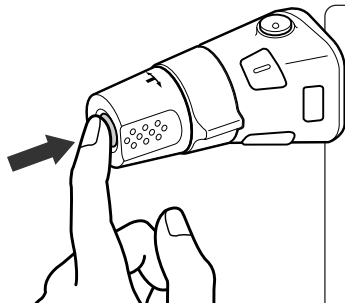
ロータリーコマンドーには、ボタン名称のシールが2枚付属されています。ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



ロータリーコマンドーの操作

CD/MDチェンジャーやテレビ・ビデオは、各機器を接続しているときのみ操作できます。

押すと(^{ソース} SOURCEボタン)



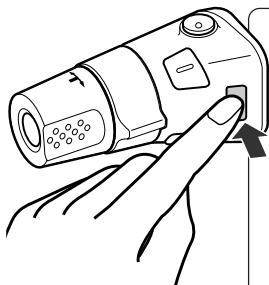
SOURCE ボタンを押すと

ソースがTUNER CD MD TAPE TVと切り換わる

SOURCEボタンを押すと本機の電源が入ります。

テレビ、ビデオを接続してお使いの場合は、SOURCEボタンを2秒以上押すとサイマルセレクトモードになります。再度2秒以上押し元に戻してからサイマルプレイについては55ページをご覧ください。

押すと(^{モード} MODEボタン)



MODEボタンを押すと

TUNERの時：FM AM ……

CDの時：CD 1 CD 2 ……

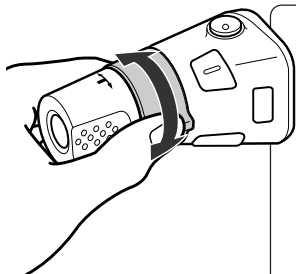
MDの時：MD 1 MD 2 ……

TAPEの時：FWD REV ……

TVの時：TV AUX ……

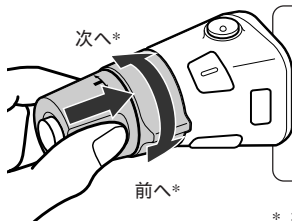
と切り換わる

回すと(SEEK/AMSつまみ)^{シーク/エーエムエス}



- CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする
回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る
- テープ... 短く回して離すと曲の頭出しをする
2秒以上回して離すと早送り、巻戻しされる
止めるにはMODEボタンを押す
- ラジオ... 短く回して離すと自動的に放送局を受信する
回しつづけると特定の周波数に合わせられる
- テレビ... 短く回して離すと自動的に放送局を受信する
回しつづけると特定のチャンネルに合わせられる

押しながら回すと(PRESET/DISCつまみ)^{プリセット/ディスク}



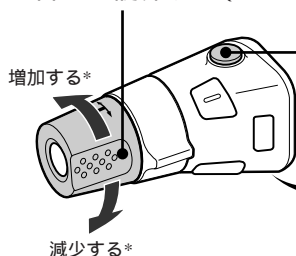
- CD/MD... ディスクを切り換える
- ラジオ... プリセットした放送局を順に受信する
- テレビ... プリセットしたチャンネルを切り換える

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

ロータリーコマンダーの操作(つづき)

その他の操作

音量を調節する(^{ボリューム}VOLつまみを回す)



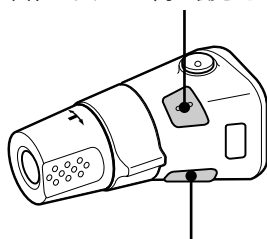
音を瞬時に消す(^{ミュート}MUTEボタンを押す)
解除するにはもう一度押すかまたは本体のダイヤルを回す。

電源を切る(^{オフ}OFFボタンを押す)

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

音量調節・音質選択する(^{サウンド}SOUNDボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。



リストを表示する(^{リスト}LISTボタンを押す)

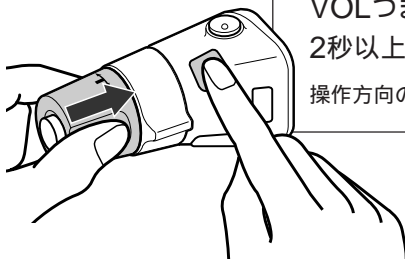
本体のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

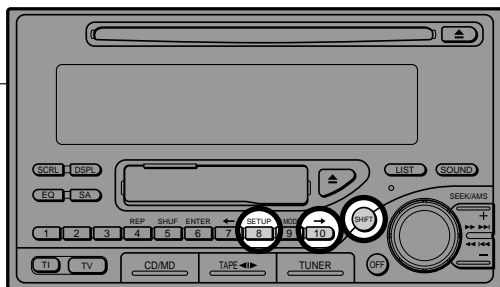
運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す

操作方向の切り換えは、本体でもできます(45ページ)。



音や表示などの設定を変える



SET UP (セッティング)

次の設定ができます。

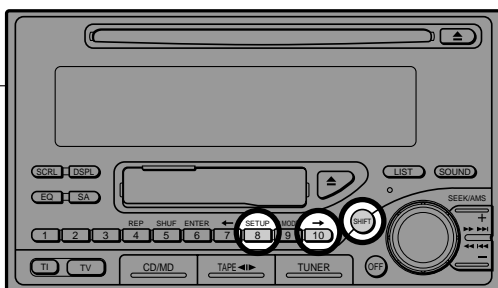
- 「Amber」, 「Green」
 - 操作ボタンの照明色を変える。
- 「Dimmer」
 - 表示窓の減光を設定する。
 - 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する(車の照明電源に接続されている場合のみ)
 - 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。
 - 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
- 「Beep」
 - 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
- 「RM」
 - ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。
 - 「norm」 → 初期設定の回転方向。
 - 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- 「Loud」
 - 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- 「A.Scr」
 - CD-TEXTディスクやMDを再生したとき、またはディスク、曲を切り換えたとき、9文字以上のディスク名*1または曲名*2を自動的にスクロールします。
 - *1 表示がディスク名表示のとき
 - *2 表示が曲名表示のとき
- 「Disc MEMO」, 「TEXT name」
 - CDの表示を設定する。
 - 「Disc MEMO」 → ディスクメモ機能でつけたディスク名を表示する。
 - 「TEXT name」 → CD-TEXTディスクの情報を表示する。

操作手順は次ページを参照。

その他の操作

次のページへつづく

音や表示などの設定を変える(つづき)



SET UP (セットアップ)



1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。



2 数字ボタン8 (SET UP) を繰り返し押して、調節したい項目に切り換える。

Clock → Amber/Green → Dimmer → Beep → RM → Loud
→ A.Scl* → Disc MEMO/TEXT name*

* CD/MD再生中に表示されます。



3 数字ボタン10(→)を押して調節したい設定にする。
(例: 「on」または「off」)



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

Disc MEMO/TEXT Nameの表示を切り換えるには

- 1** 再生中にSHIFTボタンを押す。
- 2** 数字ボタン10 (→) を押し表示させたい設定に切り換える。
- 3** 最後に、SHIFTボタンを押す。

CD/MD

別売りのCD/MD機器を接続して、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

CD/MDを聞く



再生中にCD/MDボタンを押して、聞きたいCD/MD機器に切り換える。

CDの場合

CD1(本機) → CD2(CD機器1) → CD3(CD機器2)

全てのディスクを順に再生します。

CD/MD機器を選んだあとは、10～15ページと同じ操作が行えます。

ご注意

- 漢字、ひらがな入力されたMDを再生した場合は、「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。
- カタカナ表示に対応していないMD機器では、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示されます。また、表示されたローマ字の前後に「^」記号が付加されます。

例 BESTヒット → BEST^HituTO^

MDに録音日時が記録されているときは、再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと録音日時が約3秒間表示されます。

聞きたいディスクを探す

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン
1 ~ 10を押す。



ご注意

数字ボタンの上に、「SET UP」および「P MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

リピート

繰り返し聞く

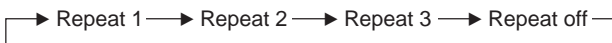
- 「Repeat 1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- 「Repeat 2」→ 再生中のディスクを繰り返す。
- 「Repeat 3」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクまたは本機のディスクを繰り返す。



1 再生中にSHIFTボタンを押して「REP」を表示する。



2 数字ボタン4 (REP) を繰り返し押し、聞きたい設定に切り換える。



リピート演奏が始まります。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Repeat off」を選びます。

曲順を変えて聞く

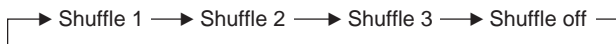
- 「Shuffle 1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に再生する。
- 「Shuffle 2」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に再生する。
- 「Shuffle 3」→ 全ディスクの曲を順不同に再生する。



1 再生中にSHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。



2 数字ボタン5 (SHUF) を繰り返し押して、聞きたい設定に切り換える。



シャッフル演奏が始まります。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Shuffle off」を選びます。

ご注意

Shuffle 2とShuffle 3では、全ての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

CDに名前をつける

26、27ページと同じ操作が行えます。

ご注意

CDの名前は本機またはカスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。名前の消去は、名前が登録されているプレーヤー（本機またはチェンジャー）でCDを再生しないとできません。「名前を消去するには」（27ページ）で消したい名前が見つからないときは、手順1で他のカスタムファイル対応のプレーヤーでCDを再生してください。

ディスクを名前で探す

名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。ディスク名のついていないCDについては、ディスクメモ機能(26ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST

1 LISTボタンを短く押して名前を表示します。



再生中のディスク名
が点滅

LIST

2 LISTボタンを繰り返し押して、聞きたいディスクの名前を表示する。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、通常の表示に戻ります。

ENTER
6

3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。

ご注意

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない
- 「*****」: 名前が入っていない。
- 「?」: ディスクの情報を読み取っていない。
- 別売りのTVチューナーを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作は行えません。くわしくは「CD/MDの情報を見る」(54ページ)。

テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見することもできます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターを接続してください。

テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。

チャンネルを登録する

最大10局まで登録できます。



1 TVボタンを押して「TV」表示にする。



2 SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます(「SET UP」、「P MODE」など)。



3 数字ボタン9(P MODE)を押して「Auto memory」を表示する。



4 数字ボタン10(→)を押す。

受信できる放送局を探し始め、チャンネル順に数字ボタン1～10に割り当てます。



5 最後に、SHIFTボタンを押す。

テレビを見る(つづき)

その他の操作

チャンネルを選ぶには 数字ボタン1～10を押す。

強制的に
モノラル受信するには 「ステレオ放送が聞きにくいとき」(25ページ)と同じ手順を行う(ステレオ放送受信中)。

副音声を聞くには

- 1 SHIFTボタンを押す。
- 2 数字ボタン9(P MODE)を短く押して「MAIN」表示にする。
- 3 数字ボタン10(→)を押して「SUB」表示にする(2カ国語放送受信中)。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

特定のチャンネルを
登録するには 「特定の放送局を登録する」(30ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)。

テレビ局に
名前をつけるには 「放送局に名前をつける」(31ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)。

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。

TV

1 TVボタンを押して「AUX Video 1」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子に接続しているときは、
「AUX Video 2」表示に切り換えます。

2 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

登録したテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。

LIST

ラジオまたはテレビを受信中に、LISTボタンを短く押す。

数字ボタンの番号	FM			
	1	-	BAY FM	放送局名(登録してあるとき)
	2	-	FM 79.5	
	3	-	TOKYO FM	
	4	-	J-WAVE	
	5	-	NHK FM	
	6	-	YOKOHAMA	
	7	-	FM FUJI	周波数またはチャンネル番号 (名前を登録していないとき)
	8	-	77.1	
	9	-	81.9	
	10	-	76.0	

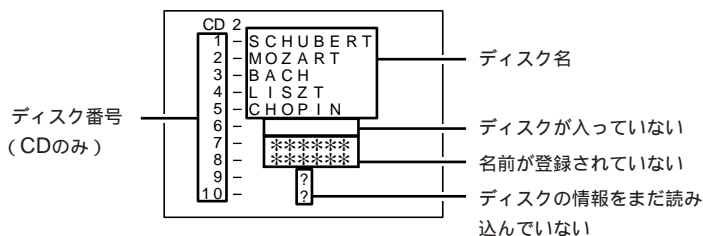
現在受信中の放送局は赤紫色で表示されます。一覧が出ている間は、
テレビ画面は映りません。

表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。
テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(26ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST 再生中にLISTボタンを短く押す。



現在再生中のCDは赤紫色、MDは黄色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、もう1度LISTボタンを押します。

ご注意

- MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
- 名前はすべて大文字で表示されます。
- CD-TEXTの内容は表示されません。

テレビやビデオを見ながらCD/MD/テープを聞く



- 1 TVボタンを押して「TV」または「AUX」(ビデオ)表示にする。

TV 1 Ch



- 2 CD/MDボタンまたはTAPEボタンを2秒以上押す。



サイマルプレイが始まります。

CD 8 1.15
TRACK

サイマルプレイをやめるには

テレビまたはビデオをやめるには、CD/MDボタンまたはTAPEボタンを2秒以上押します。

CDまたはMD、テープをやめるには、TVボタンを押して「TV」または「AUX」(ビデオ)表示にします。

ご注意

- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

CD/CD-ROM

音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして画像を再生できます。別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キットRC-130を本機に接続します。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビモニターかナビシステムに接続してください。

音声を切り換える

音声多重ディスク(ビデオCDやCD-Gなどの一部)では、左右のチャンネルに別々の音声が録音されています。このようなディスクでは左右どちらか片方のチャンネルの音を選んで、左右両方のスピーカーで聞くことができます(このような場合音声はモノラルになります)。

本機でCD/CD-ROMチェンジャーの音声を切り換えるには以下のようにしてください。



1 SHIFTボタンを押して「P MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます(「SET UP」、「P MODE」など)。



2 数字ボタン9(P MODE)を繰り返し押して、「Stereo」を表示する。



3 数字ボタン10(→)を押して「L mono」または「R mono」を選ぶ。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

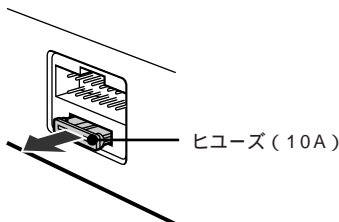
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

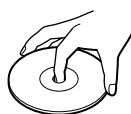
寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

コンパクトディスクについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。



禁止

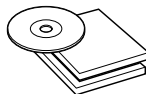


ディスクに紙などを貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



禁止



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると、取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

使用上のご注意(つづき)

カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質がよくない、音が出ないというようなことがあります。1か月に一度ぐらいの割合で、別売りのソニークリーニングカセットCHK-1またはC-1KNを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合はお買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

良い音で聞くために

カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットのテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。

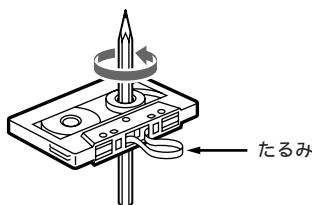


禁止



カセットについて

- ・テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- ・古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。
- ・次の場所には絶対に置かないでください。
 - 直射日光が当たるところなど高温の場所(特に夏季)
 - 湿度の高いところ
- ・テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。必ず、鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- ・ 90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



- ・ 変形したカセットテープやラベルのはがれかかったテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。

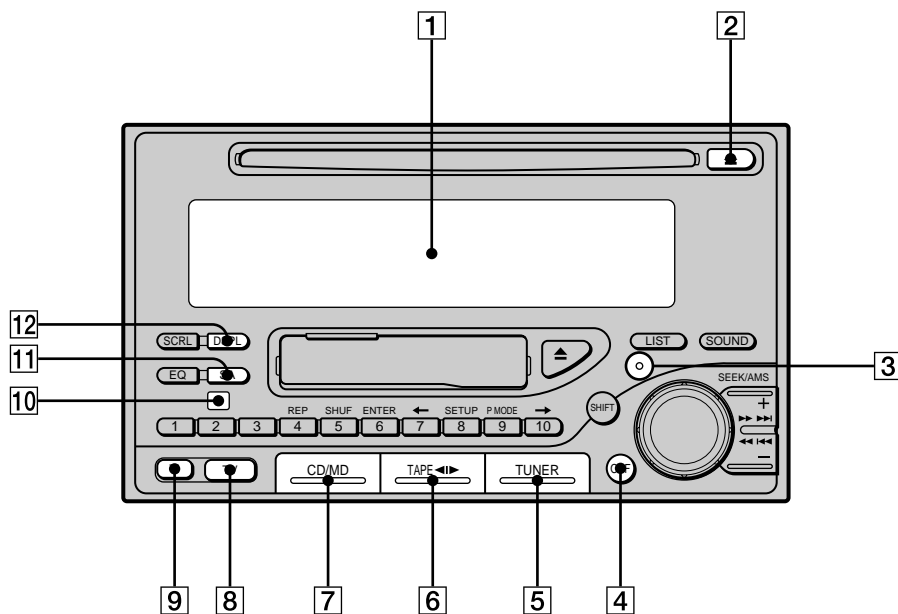


- ・ 本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

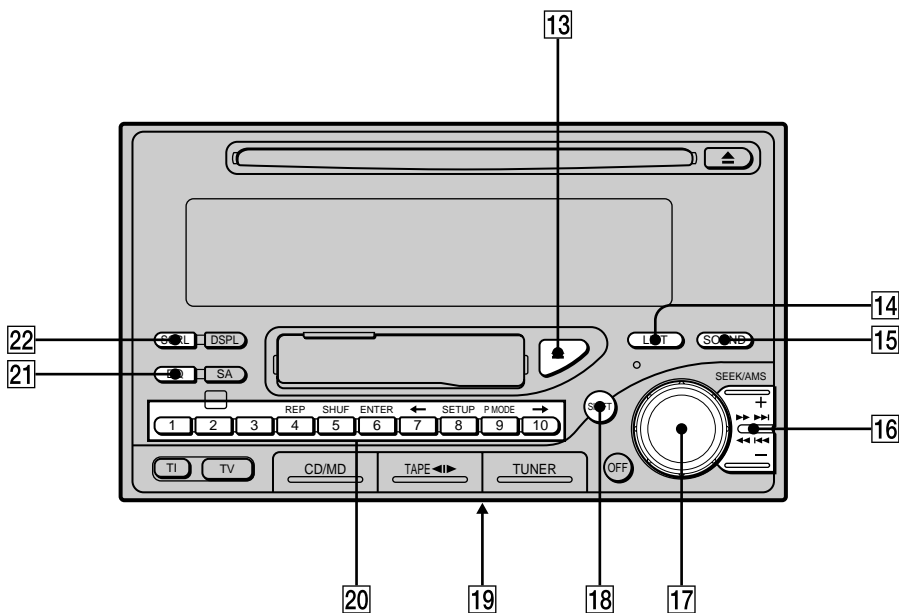
各部のなまえ

本体

内のページに詳しい説明があります。



- | | |
|---|--|
| <p>1 表示窓</p> <p>2 イジェクト
▲(CD取り出し)ボタン 11</p> <p>3 リセットボタン 7</p> <p>4 オフ(電源切り)ボタン 11 17</p> <p>5 チューナー
TUNER(バンド切り換え)ボタン
9 22 30</p> <p>6 テープ
TAPE(テープ再生、再生面切り換え)
ボタン 16 55</p> | <p>7 シーディー/エムディー
CD/MD(再生、チェンジャー選択)ボタ
ン 10 47 55</p> <p>8 テレビ
TV(テレビ/ビデオ)ボタン 51 53 55</p> <p>9 トラフィックインフォメーション
TI(道路交通情報)ボタン 25</p> <p>10 リモコン受光部</p> <p>11 スペクトラムアナライザー
SA(表示パターン、レベル切り換え)ボ
タン 34</p> <p>12 ディスプレイ
DSPL(表示切り換え)ボタン
12 21 23 27 32</p> |
|---|--|



13 イジェクト
▲(テープ取り出し) ボタン 17

14 リスト
LIST ボタン

ラジオ 31 32 43 53

シーディー/エムディー

CD/MD 26 27 50

テレビ 53 54

15 サウンド
SOUND (音質調整) ボタン 35 36 37 38 39

16 シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (頭出し / ラジオ選局) ボタン 11 17 24 28 30

17 ボリューム/イコライザー/サブウーファー/バランス/フェーダー
Volume/EQ/Sub.w/Balance/Fader (音量調節) ダイアル

8 10 16 22 26 31 35 36 37 38 39

18 シフト
SHIFT ボタン
プレイモード
P MODE 9 13 19 24 25 28 29 40 51 52 56
リピート
REP 14 20 48
セットアップ
SET UP 8 46
シャッフル
SHUF 15 49

19 パワーセレクトスイッチ (底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

20 数字ボタン1～10

ラジオ 22 30 53

シーディー/エムディー

CD/MD 48

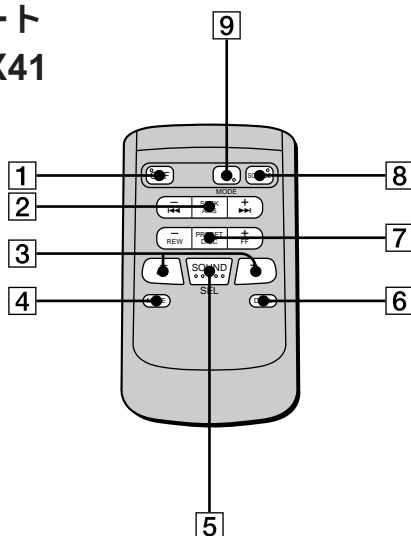
テレビ 53

21 イコライザー
EQ ボタン 35

22 スクロール
SCRL (表示送り) ボタン 12

各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモート コマンダーRM-X41 (別売り)



1 オフ (電源切り) ボタン

2 SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン

3 (+) (-) (音量調節) ボタン

4 ミュート
MUTE (音消し) ボタン

5 サウンド
SOUND (音質調整) ボタン

6 ディスプレイ
DSPL (表示切り換え) ボタン

7 プリセット/ディスク
PRESET/DISC ボタン

ラジオ... 登録した放送局を選局

テープ
TAPE... FF/REW

シーディー/エムディー
CD/MD... ディスク交換

8 ソース
SOURCE (TUNER/CD/MD/TAPE/テ
レビ/ビデオ切り換え) ボタン

9 モード
MODE (バンド、FWD/REV、チェン
ジャー切り換え) ボタン

ご注意

本機底面のパワーセレクトスイッチを⑤にしている場合は、本機の電源が入っていないとワイヤレスリモートコマンダーで本機を操作することはできません。このときは1度本体でラジオを受信するなどしてから操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ミュート機能を解除してください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクトスイッチが③になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください（アクセサリポジションのある車のみ）。
	ラウドネスの効果がかわらない。	大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時のみかかります。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作電源コードまたはバッテリーをはずした。電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている（45ページ）。
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクをいれてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">すでに別のディスクが入っている。ディスクを誤った向きに入れようとしている。 レーベル（ラベル）面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。本機の取り付け角度が20°を越えている。本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。ごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
ラジオ／テレビ	受信できない、 雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
	SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない	<ul style="list-style-type: none"> • 「Local」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(24ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押しつつ周波数を合わせてください。
カセットプレイヤー	カセットが入らない	カセットを正しい向きにして入れてください。
	テープ再生中にアンテナが上がる	<ul style="list-style-type: none"> • 「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻き戻し中に自動的にラジオを受信するためアンテナが上がります。
	雑音が多い	雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。
	音がこもる	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドが汚れている。別売りのソニッククリーニングカセット(CHK-1またはC-1KN)を使ってクリーニングしてください。 • ドルビーNR録音されていないテープをドルビーB NRで再生している。ドルビーNRをoffに切り換えてください。
	頭出しができない	<ul style="list-style-type: none"> • 曲間のあきが短すぎる。録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あげてください。 • 曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。
	曲の途中で再生が始まる	<p>曲の途中に無音部分や低音のみの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。 • 無音部分の一部に雑音が多い。
	曲が収録されていない部分で再生が始まる	ドルビーNR録音されたテープをドルビーNR offで再生している。ドルビーNR Bに切り換えてください。

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
High temp	周囲の温度が50℃以上あって再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG Discs	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO Mag	チェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
Push reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	96dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
ワウフラッター	0.08% (WRMS) 以下
周波数特性	30～20,000Hz
再生SN比 (JIS A)	

カセット	ドルビー B NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	65dB	55dB
TYPE II, III, IV	67dB	58dB

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	12dBf
周波数特性	30～15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	18dBf
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	65dB (ステレオ) 70dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.5% (ステレオ) 0.3% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)
キャプチャレシオ	4dB

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、160Hz、400Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	±12dB

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	35W×4 (4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源

DC12Vカーバッテリー
(マイナスアース)

出力端子

FMコンボジット出力端子、
サブウーファー音声出力端子、
フロント音声出力端子、
リア音声出力端子、
アンプコントロール、
アンテナコントロール
バス音声入力端子、
バスコントロール入力端子、
ミュート入力端子

入力端子

本体寸法

(携帯電話、ナビ用)
約178×100×173mm

取付寸法

(幅/高さ/奥行き)
約178×100×155mm
(幅/高さ/奥行き)

質量

約2.2kg

付属品

ロータリーコマンダーRM-X2S (1)
取り付け/接続部品 (一式)
取扱説明書 (一式)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
保証書 (1)

別売品

ワイヤレスリモートコマンダー
RM-X41 (1)

CDチェンジャー

CDX-805 (10枚)
CDX-T62 (6枚)
CDX-T65 (6枚)

CD/CD-ROMチェンジャー

CDX-R61 (6枚)

MDチェンジャー

MDX-61

FM文字多重放送ディスプレイ

ユニット FMX-88

TVチューナーユニット

XT-40V

ソースセクター

XA-C30

バスケーブル (RCAピンコード

付属)
RC-61 (1m) RC-62 (2m)

バス延長コード

RCA-U305 (0.5m)

RCAピンコード

RC-63 (1m) RC-6 (2m)

RC-65 (5m)

バスシステム接続キット

RC-130

CDクリーニングキット

CDM-3K

クリーニングカセット

CHK-1、C-1KN

本機は、ドルビーラバトリーズライセンスリングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

イコライザー 35～37
イントロ 13、18、19
エラー表示 65
音量 10、16

か行

カスタムファイル 26～29

さ行

サイマルプレイ 55
サブウーファー 38
CD/MD
ディスク名の一覧 54
名前で探す 50
名前をつける 26、49
名前を表示する 27

CD-G 56

CD-TEXT 12

シャッフル 15、49

ステレオ放送 25

スピーカーバランス 39

スペクトラムアナライザー
34

SET UP

Amber 45、46

Beep 45、46

Clock 8、46

Disc MEMO 45、46

Green 45、46

Loud 45、46

RM 45、46

A.Scrl 45、46

TEXT name 45、46

ソースサウンドメモリー 41

た行

ディスクサウンドメモリー
40

ディスクメモ 26、27

テレビ 51
チャンネルの一覧 53

名前をつける 31

登録 30

電源 11、17

登録

自動登録 9

テレビチャンネル 51

ラジオ局 9、30

道路交通情報(TI) 25

時計 8

な行

名前

消去する 27、32

つける 26、31

表示する 27、32

は、ま、や行

バランス 39

バンク 28、29

ビデオ 53

ビデオCD 56

ヒューズ 57

表示窓

CD/MD 12

テープ 21

ラジオ 23

フェーダー 39

P MODE

ATA 18、19

Bank 28、29

B.Skip 18、19

B.T.M 9

DSM 40

Intro 13、18、19

Local 24

Metal 18、19

Mono 25

NR 18、19

ベストチューニングメモリー
(BTM) 9

ボタンの音 45、46

ら、わ行

ラウドネス 45、46

ラジオ 22～25、30～33

自動選局 24

名前で探す 33

名前をつける 31

名前を表示する 32

登録 9、30

放送局の一覧 53

リセット 7

リピート 14、20、48

リモコン

ロータリーコマンダー
42～44

ワイヤレスリモートコマン
ダー(平形) 62

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



* 1 - 3 - 8 5 9 - 8 3 2 - 0 2 * (1)